

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】 注)「項目番号」の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。					
優先順位	項目番号	次のステップに向けて取り組みたい内容	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	介護計画作成において、今後も家事活動を含め、ご本人の「できる事」「できそうな事」、留意点、趣味等をアセスメント用紙に増やしていくと共に、24時間の日課表にケアの内容のみでなく、ご本人ができること、留意点を追加していく。	ご本人の「できる事」「できそうな事」、留意点、趣味等のアセスメントを増やし、24時間の日課表にも同様の内容を追加して介護計画作成を行う。	・本人のできることやできそうなこと、留意点、趣味等の記載ができるアセスメントを職員間で検討し、作成する。 ・アセスメントを元に介護計画作成、実践する。 ・24時間日課表様式の変更の検討、できそうなこと等の内容を追加する。	12ヶ月
2	35	コロナ禍、消防署員や消防団立ち合いの訓練ができておらず、今後も引き続き、実践に即した訓練方法を検討すると共に、災害への備えが不十分なものがあり、必要な備蓄を検討し、準備していく。	コロナ禍の状況であるが、消防署員や消防立ち合いで実践に即した訓練の実施を目指す。 災害に対して必要な備蓄の検討と準備をする。	・コロナの状況を見ながら消防署員や消防立ち合いができる方法を相談しながら避難訓練を計画、実践する。 ・災害時に必要な物品等を職員間で再度話し合い、ホームで準備できるものは備える。備蓄等について、法人の防災委員会で検討してもらえないか相談する。	12ヶ月
3	40	今後も入居者の方が「できる事」「お手伝いができる場面」をアセスメントし、日々の役割に繋げると共に、配食事業所との情報交換を増やし、更なる味の改善や食材の固さの調整をしていただく。	今後も入居者の方が「できる事」「お手伝いできる場面」、日々の役割につなげていく。 配食事業所と情報交換を行い、さらに食事を楽しめるようにしていく。	・本人のできる事、お手伝いできる場面等の日々の役割についてアセスメントを職員間で検討、実践する。 ・入居者の方に食事について意見をもらい、職員が気付いたことなどをまとめ、配食事業所との情報交換を月1回は実施する。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月